

平成28年度 特別養護老人ホーム ぬまづホーム 事業報告

1. 概況報告

平成28年度は前年度の介護報酬改定による報酬単価の大幅な引き下げの影響を受けつつ、既存の事業の効率化の推進と入所者・利用者の重度化への対応強化を行い、一方では新たな事業への取り組みを同時に行わなければならない重要な年度であった。

施設サービスでは、更なる重度化を視野に入れ、「効率化」をテーマに記録、プラン、入浴などサービス内容の見直しを図った。結果として特養、ショートともに高い稼働を維持しながら介護職員の業務の効率化を進めることができた。在宅サービスでは、沼津市においても平成29年度より総合事業を開始することが決定していることより、特にデイサービスについては検討を重ね、4月1日開始に向けての準備を行った。他のサービスにおいても、特養まで視野に入れた地域包括ケアシステムの実現に向けてサービス間の連携を強化し、地域の利用者のニーズに適切に対応できるように努めた。

また、今年度は沼津市の地域包括支援センターの再編成も予定されており、事業者の公募が行われ信愛会が受託することとなった。平成29年度はこの地域を2事業所で地域包括支援を行えるよう居宅介護支援事業所を巻き込んだ体制作りに向けて準備を行った。

地域貢献活動の一環として取り組んできた近隣の香貫小学校への放課後児童クラブに対する地域交流室開放については平成28年度をもって終了となった。

(1) 各事業

①特養（介護老人福祉施設）

重度化の対策として入浴設備の老朽化にあわせ見直し特浴を6月に増設した。これにより利用者の状態にあったケアの提供とともに業務についても分散していた職員を集中させることが可能となり効率化に繋げることができた。記録の電子化についてはケアプランを12月までにウインケアのソフトに移行、経過記録は1月にタブレット型の記録システムのモバイルくんを導入し一部移行することができた。次年度には完全移行を目指し効率化を進めていく。

②ショートステイ

長期利用される方々への配置医の確保と定期受診を重ね、医療連携システムの構築を図った上で医療ニーズへの対応ができた。特養との勤務体制の一本化を推進したことにより多床室利用者受け入れのための情報を共有することができた。また、様々な勤務に対応したうえでショートステイとEユニットの連携を図り情報交換を密に行いサービス格差防止に努めた。接遇についての勉強会実施まで至らなかったが、職員間で意識し合える職場環境の場を設けることができた。

③デイサービス

電子記録は試行錯誤しながらペーパーレスに繋げることができたが、業務整理までは課題が残る。総合事業では内容の分担化をし職員間で提供内容を共有することができたが、満足のいく提供体制を整えることまではできなかったため今後の課題とする。認知症ケア専門士を2名が修得できた。今後は具体的な認知症ケアの取り組みを遂行したい。

④ホームヘルプサービス

介護保険と合わせ自費サービスを行うなど、個別のニーズの状況に応じ柔軟に対応することが継続して行えている。今後も更に多様化するニーズ対応の強化に努めていくよう質の向上を更に高めていく。

⑤居宅介護支援

主任ケアマネが5名となり地域包括支援センターや病院からの困難ケースも含め多く受けることができ、各職員の意識やスキルもケースを対応することで向上した。ケースを通して医療や地域のニーズを確認することもできた。各事業所に出向くことや地域ケア会議（包括主催）等で顔の見える関係づくりを行った。主治医とは連絡票の活用から、利用者にとって適切な在宅生活の整備を円滑かつ迅速に対応することができ安心した環境を整えることができた。職員の入れ替わりがあり、新規ケースの受け入れも制限があったが、次年度は人員増加の中、新人の育成やケースの受け入れも積極的に行っていく。

⑥地域包括支援センター

地域ケアシステム構築に向けて、個別地域ケア会議やネットワーク型地域ケア会議の開催を通して圏域内の地区社協・民児協・各関係機関・医療機関・サービス事業所・居宅介護支援事業所との多職種連携強化に努めた。虐待対応事例や支援困難ケースの相談も増加傾向であるが、行政とも連携し終結に結び付いている。新規相談についても迅速に対応ができた。

(2) 運営管理

①医務

主治医・多職種との情報の共有・連携を図り、ロングショートの利用者も含め、重度化・多様化している医療ニーズに適切に対応ができた。週一度レクリエーションを行い生活の充実を図った。終末期ケアについては個別に家族教育を行いスムーズに移行することができた。冬季は在宅部門でインフルエンザの発生があり、予防投与を行い、大規模な感染拡大は防ぐことができた。

②衛生管理

メンタル不調者の早期発見、早期対応対策のためのストレスチェック制度の導入をし、大きな混乱なく実施することができた。感染管理では、より実践に即したマニュアルを更にブラッシュアップし、より効果的な実践に繋げることができた。労働災害としての腰痛発生がみられ、ノーリフトの継続的な教育の推進が必要である。

③食事サービス

10月より、ゼリー食を開始し、和みの郷と食形態の統一ができた。食事の標準化に向け、食向上委員会で意見を集約し、和みの郷との連携の強化を図った。また、食事提供における取り決めの確認、見直しを行い、現状に合うものにする取り組みを開始した。

栄養ケア・マネジメントシステムの運用については、9月から献ダtemanに移行したが、作業手順の構築ができなかったため、今後はシステムを理解し作業の効率アップを図っていきたい。

④研修委員会

新人研修は春秋予定通り開催したが部署により業務都合で一部の研修しか参加することができなかった。管理運営会議から委託された研修は身体拘束を除きすべて実施できた。全体研修で施設理念や地域貢献について講義を受け、職員一人ひとりが自覚を持つ企画ができた。

⑤防災委員会

災害発生時に備え、毎月防災訓練を実施。特に今年度は土砂災害を想定した場合の防災マニュアルの確認と防災訓練を実施した。また、地域の防災についての連絡会議へかぬき地域包括担当者と共に防災委員が出席し情報を共有。年度更新時に木の宮自治会へ災害時の協力要請を行ったところ、対応について自治会内の連絡網が整備され、当施設との協議が進んだ。

⑥事故防止検討委員会

特養において、骨折や窒息事故の行政報告事故が発生した。また、車両の事故が増加した。転倒リスクスケールの導入を行い、ハイリスク者にはケアプランに転倒防止の立案を行った。事故・ヒヤリ報告書の簡素化をしスピード化を図ったが、分析・対策の精度に課題を残した。

⑦褥瘡予防対策委員会

入所者全員に定期的に褥瘡アセスメントシートに基づいたリスク分類を行い、リスクにあわせた福祉用具の選定・ケアの実施を行った。デモ用のポジショニングピローを活用し、個々の購入使用に結び付けた。ショートステイ利用者専用ポジショニングピローを導入した。職員のポジショニングスキルの標準化は次年度への課題とした。

2. 施設概要

平成29年3月31日現在

名 称	特別養護老人ホーム	ぬまづホーム
事業内容	第1種社会福祉事業	
	※特別養護老人ホーム	定員 70人
	第2種社会福祉事業	
	※在宅老人短期入所事業	定員 20人
	※通所介護事業	一般型 定員 25人
		認知症対応型 定員 12人
	※訪問介護事業	
その他の事業	※居宅介護支援事業	地域包括支援センター
	高齢者虐待防止一時保護事業	生きがい活動支援事業
	軽度生活援助事業	2次予防高齢者通所介護予防事業
		(※印は介護保険指定事業)
所在地	静岡県沼津市下香貫猪沼981-2	
敷地面積	5,992.22㎡	
建物規模構造	特養 鉄筋コンクリート造3階建 4,775.43㎡	
運営開始日	平成1年4月1日	
居室タイプ別床数		

	個室	2床室	3床室	4床室	合計床数
1階	0	0	0	0	0
2階	16	0	5	11	75
3階	15	0	0	0	15
合計室数	31	0	5	11	90

3. 施設整備状況

年 月 日	物 件 名	数量	目 的 ・ 用 途
平成28年4月30日	ノートパソコン	1	地域包括介護予防教室等資料作成
平成28年6月30日	入浴用ストレッチャー	1	利用者重度化に伴い増設
平成28年7月31日	業務用冷蔵庫	1	老朽化による更新
平成28年7月31日	相談室ルームエアコン	1	老朽化による更新
平成28年8月31日	看護課パソコン	1	老朽化による更新
平成28年11月30日	大型ミキサー	1	老朽化による更新
平成29年1月31日	ウインケア増設	1	記録のデジタル化
平成29年3月31日	モバイタルくん	1	記録の現場入力
平成29年3月31日	事務ノートパソコン	1	老朽化による更新

4. 施設の開放状況（施設の開放）

開 放 先	内 容	回 数
香南婦人学級	会議	1
放課後児童クラブ	学童保育	平成28年4月～平成29年2月まで

5. 職員派遣状況

派 遣 先	派 遣 者	内 容	回数
静岡県看護協会	渡邊 浩美	看護師職能委員会Ⅱ	12回
NTT東日本伊豆病院認知症疾患医療センター	渡邊 浩美	駿東田方圏認知症疾患医療連携協議会	1回
静岡県社会福祉協議会	渡邊 浩美	高齢者施設における看護師研修	1回

6. 施設の開放状況（ボランティアの受入れ状況）

団 体 名	年間回数	1回当たり平均人数	延べ人数
露のとう・琴城流	6	7	42
吉田フラダンス	2	10	20
話の会	12	2	24
木の宮コーラス隊・すみれ会	4	13	51
ミスターひばり・さえずりの会	2	2	4
沼津ハーモニカクラブ	1	8	8
末日聖徒イエスキリスト協会	1	10	10
明社協	4	5	20
お花教室	19	2	38
コスモス会	5	3	15

7. 研修受入れ状況

受入れ事業所	受入れ団体名	内 容	受入れ人数
特養	日本福祉大学	相談援助実習	2
特養	知徳高校	施設実習	2
特養	田方農業高校	施設実習	1
特養	裾野高校	施設実習	1
包括支援センター	静岡医療センター看護専門学校	臨地実習	1
特養	大原学園	施設実習	1
特養	沼津市立看護専門学校	老年看護実習	8
特養	沼津市社会福祉協議会	施設実習	3

8. 特別養護老人ホーム利用状況

(1) 入所状況（定員：70人）

（4月1日～3月31日）

期首在所	期中入所	期中退所	期末在籍	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
70	16	16	70	25,460	69.75	78	0

(2) 介護度別入所者数

区 分	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	計	平均介護度
男	64	65	46	13	23	211	3.65
女	237	204	110	66	24	641	3.88
計	301	269	156	79	47	852	3.82

9. 在宅サービス利用状況

(1) ショートステイ 利用状況 (定員：20人) (4月1日～3月31日)

区分	介 護						予 防			合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援1	要支援2	小計	
利用者延人数	892	1946	1666	937	501	5942	97	277	374	6316

(2) デイサービス一般型 利用状況 (定員：25人) (4月1日～3月31日)

	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	事業 対象者	生きがい	自主事業 (自費)	合計
利用者実人数	1	3	8	16	41	40	42		3	8	162
利用者延人数	5	180	394	702	2452	688	641		188	1358	6608
開所日数	311	311	311	311	311	311	311		59	311	311
一日平均	0.02	0.58	1.26	2.25	7.88	2.21	2.06		3.19	4.36	21.24

(3) デイサービス認知型 利用状況 (定員：12人) (4月1日～3月31日)

	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	自主事業 (自費)	合計
利用者実人数	5	9	13	6	1	0	2	2	38
利用者延人数	439	282	292	512	777	0	60	18	2380
開所日数	311	311	311	311	311	311	311		311
一日平均	1.41	0.9	0.94	1.65	2.5	0	0.2		7.65

(4) ホームヘルプサービス 利用状況 (4月1日～3月31日)

区 分	身体介護		生活援助		身体生活		小計		予防(総合事業含む)		合計	
	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間
介護保険	3879	2230.5	2434	2023	1629	1802.5	7942	6056	826	826	8768	6882
委託事業			448	448			448	448			448	448
障 害												
自 費	80	100	81	89			161	189			161	189
計	3959	2330.5	2963	2560	1629	1802.5	8551	6693	826	826	9377	7519

10. 居宅介護支援事業給付管理状況 (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画件数	179	183	192	188	190	185	189	199	198	195	192	184	2274
予防プラン受託件数(総合事業含む)	79	78	73	76	78	78	80	78	77	73	78	87	935

11. 地域包括支援センター実績状況（マネジメント業務）（4月1日～3月31日）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	208	208	202	207	208	202	193	198	189	170	149	133	2267
介護予防支援（委託）	235	237	232	234	238	236	249	256	257	267	278	299	3018
介護予防マネジメント													
介護予防マネジメント（委託）													

12. 地域包括支援センター実績状況（相談業務等）（4月1日～3月31日）

相談件数・内容

内 容	件 数
介護保険利用に関する事	282
在宅介護・認知症介護・生活支援	199
施設入所・住宅改修・福祉用具	32
医療に関する相談	10
その他（虐待・その他相談）	195

権利擁護に関する活動

内 容	件 数
虐待に関する相談	12
虐待に関する対応 （通報・相談を受け介入した件数）	12
日常生活自立支援事業の活用	0
成年後見制度の活用	5

開催実績

開 催 実 績	人 数
家族介護教室 5回	37
認知症サポータ養成講座 5回	278
地域介護予防教室 13回	304
ケアプラン指導事業	87
地域研修 4回・圏域内事業所研修	289

13. 事故・苦情報告（4月1日～3月31日）

区 分	特養	ショート	デイ一般	デイ認知	ホームヘルプ	Gホーム	小規模	ケアハウス	居宅支援	包括	配食	合計
事 故	4	1	0	0	0				0	0		5
苦 情	2	3	0	0	5				2	1		13